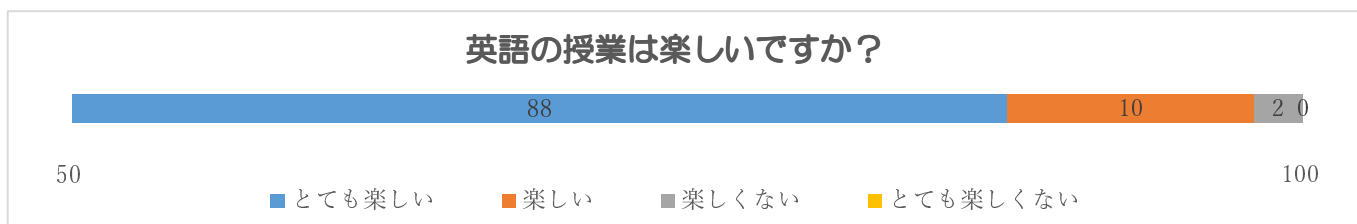


令和4年度特別の教育課程の実施状況等について

1 自己評価結果

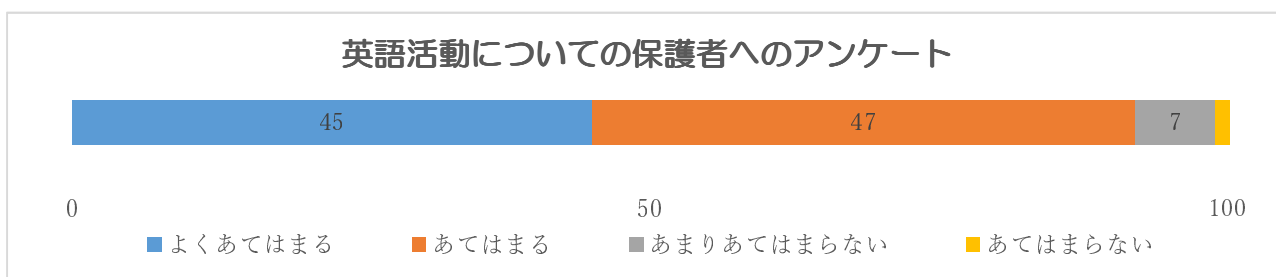
令和4年度に、1～4年生を対象に行った授業に関するアンケートでは、「英語の授業は楽しいですか」の質問に対して、「楽しい」と答えた児童の割合は全体の98%でした。

「OK Englishの映像にあわせて声を出していますか」の質問に対して、「出している」と答えた児童の割合は全体の88%でした。アンケートの結果から、英語活動が英語の授業を児童にとって楽しいものにしており、児童も積極的に英語に慣れ親しもうとしています。



2 学校関係者評価結果

令和4年度に、保護者へ行ったアンケートでは、「子供は英語学習を楽しみにし、積極的に参加している」の質問に対して、全体の92%が「あてはまる」と答えています。令和3年度「子どもは英語学習のことを家庭で話している」では、全体の67%が「あてはまる」と答えており、質問の文言は異なりますが、令和4年度の値は上がりました。これは、コロナ禍でも、多くの児童が英語活動に対して意欲的に取り組んだことが伺えます。今後も英語活動をより充実させ、保護者の英語活動への理解をよりよいものにするのが令和5年度の課題です。



3 まとめ

自己評価結果でも述べたように、児童にとって英語活動は楽しいものとなっています。このことは、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を育み、外国語活動、外国語の学習への確かな学びにつながっています。今後さらに毎日10分の帯時間に、OK Englishの映像を視聴するなかで、発達段階に応じた英語でのコミュニケーション能力育成の効果的な指導法についても検討していく必要があると考えます。